

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2011年度第6回常任委員会 議事録

1 日時：2011年9月27日(火)午後4時から午後8時55分まで

2 場所：東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル地下1階118区JPF事務局会議室

3 出席者の確認

常任委員総数7名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：木山啓子（常任委員会規約第10条5項に則り、第一部から出席）

NGOユニット：橋本笙子（常任委員会規約第10条5項に則り、第一部から出席）

外務省：山口又宏

日本経団連：斎藤仁

財団：加藤広樹（欠席につき、表決権委任：斎藤委員）

学識経験者：石井正子

代表理事：有馬利男（第二部審議事項欠席につき表決権委任：石井委員）

オブザーバー

AAR：高城

BHN：藤田・山崎

HFHJ：山本

ICA：清水

JCCP：安富

JEN：宍倉

PWJ：山本

外務省：芝

日本経団連：萬屋

ローランド・ベルガー：森・渡部・大久保・古賀・下村

4 座長の選出

本会座長として、木山委員を全会一致で選出した。

5 第一部：審議事項

(1) 第一号議案：アフガニスタン・パキスタン人道支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① ADRA：カブール市第13地区における給水設備及び学校備品整備事業（政府支援金）

再提出。給水設備・実験用備品・図書室の整備について、事業後の見込みやソフト面の検討が必要であるため。

② NICCO：アフガニスタン・ヘラート州における学校修復・識字訓練と農業支援事業（政府支援金）

承認。

(2) 第二号議案：スーダン南部人道支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

- ① JCCP：南部スーダンにおける子どもと若者へのライフスキル向上支援事業(第5フェーズ)
(政府支援金)

却下。JICA事業の準備事業としての意味合いが多く、JICA事業として実施することが適当であるため。

(3) 第三号議案：東日本大震災被災者支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

各事業の残余金は、事業ごとに返還することとし、当初計画の活動内容とは異なる活動を行う際は残余金を返還した上で、改めて事業申請を行うこととする。ただし、その新たな活動が当初事業目的に沿った活動であり、軽微な変更であると判断される場合は、事業変更申請による承認も検討することとする。

- ① AAR：福島県被災者に対する生活必需品の配付事業（民間資金）

継続審議。災害救助法でカバーできる範囲と支援対象者の確認とADRAと内容を調整の上、メール審議に付すこととする。

- ② AAR：東日本大震災被災地域における高齢者施設再建及び障害者・高齢者への物資配付
(民間資金)

再提出。現行事業の成果も踏まえて、妥当性、必要性、緊急性の精査が求められるため。

- ③ RJP：生活・事業再建に関する専門家等の出張形式の相談会（民間資金）

継続審議。事業期間の見直しと行政との連携を確認した上、メール審議に付すこととする。

- ④ EWBJ：被災した大船渡市民の生活再建を支援する子供の居場所づくり（民間資金）

却下。裨益者が少なく、市が所有管理する施設を助成する必要性が問われたため。

- ⑤ BAJ：岩手県大船渡市の仮設住宅等に住む被災者を対象とした多目的
コミュニティーセンターの運営（民間資金）

再提出。施設の詳細情報を確認し、食事提供については内容を再検討すること。

なお、共に大船渡で事業を実施しているEWBJとBAJが、合同で事業を実施することを常任委員会は提案した。

- ⑥ BHN：宮城県山元町・亘理町の臨時災害放送難聴地域解消事業（民間資金）

承認。

- ⑦ NICCO：ボランティア派遣による仮設住宅地へのサポートと清掃・がれき撤去作業
(民間資金)

再提出。出口戦略を提示し、これまでの成果を踏まえた上での事業の再構築が必要であるため。

- ⑧ JAFS：東日本大震災被災者支援のための地場産品ふれあい直売所の設営と商店会支援、地元食品の加工場の設営支援プロジェクト（民間資金）

再提出。ドームハウスの比較優位性と土地の所有権と直売所、加工場運営を明確にすること。

- ⑨ PARCIC：十三浜ワカメの加工支援事業（民間資金）

書式第6号

条件付き承認。土地の使用許可証を取り付け、水産庁と同じ条件での支援とし、共同作業場の維持管理体制を明確にすること。

- ⑩ JPF：東日本大震災における海外からの支援に関する調査事業（民間資金）承認。

6 第二部：審議事項

- (1) 第一号議案：前回常任委員会議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
前回常任委員会議事録（案）承認。

- (2) 第二号議案：助成ガイドラインの改定の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
助成ガイドライン承認。

- (3) 第三号議案：助成資格の更新および変更の承認

事務局から、2011年10月～2012年9月に適用される助成カテゴリーの更新および変更の手続きを行った旨の報告がなされ、助成ガイドライン細則2第4条3項に基づき、常任委員会は以下の団体について助成資格の更新および変更を承認した。

団体名	カテゴリ
(特活)難民を助ける会	4
(特活)ADRA Japan	4
(特活)ブリッジ・エーシア・ジャパン	2
(特活)BHNテレコム支援協議会	3
(財)ケア・インターナショナル ジャパン	4
(特活)パレスチナ子どものキャンペーン	3
(社)Civio Force	1
(特活)国境なき技術団	1
(特活)グッドネーバース・ジャパン	2
(特活)ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン	2
(特活)ホープ・インターナショナル開発機構	2
(特活)災害人道医療支援会	2
(特活)ICA文化事業協会	3
(特活)JADE-緊急開発支援機構	2
(社)アジア協会アジア友の会	3
(特活)難民支援協会	1
(特活)日本紛争予防センター	継続審議

団体名	カテゴリ
(特活)日本チェルノブイリ連帯基金	1
(特活)ジェン	4
(特活)日本レスキュー協会	1
日本赤十字社	-
(特活)国境なき子どもたち	3
(社)日本国際民間協力会	4
(特活)バルシック	3
(特活)ピースビルダーズ	継続審議
(特活)平和貢献NGOsひろしま	-
(財)プラン・ジャパン	2
(特活)ピース ウィンズ・ジャパン	4
(社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	4
(特活)SEEDS Asia	1
(特活)SNS国際防災支援センター	継続審議
(社)シャンティ国際ボランティア会	4
(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン	4

7 第二部：協議事項

- (1) スーダン南部人道支援に関する複数年度事業計画の準備方針について

事務局より、スーダン南部人道支援に関する複数年度事業計画の説明がなされた。なお、複数年の方針について、次回以降の常任委員会で協議することとした。

書式第6号

(2) 理事会に提示する事項について

(2-1) 東日本大震災被災者支援の活動報告と今後の活動について

(2-2) 東日本大震災被災者支援にかかる寄付繰入について

(2-3) JPFの新しい事業構造とオペレーションについて

協議の結果、上記3点を理事会に提示することとした。

8 第二部：報告事項

(1) 事務局運営費の報告について

事務局より、事務局運営費についての報告がなされた。

(2) 事務局長候補の選考状況について

事務局より、事務局長候補の選考状況について、報告がなされた。

9 第三部：報告事項

(1) 事務局の出張報告について

事務局より、以下の支援について出張報告がなされた。

① スリランカ北部人道支援

(2) 支援事業の概要報告について

以下支援プログラムにかかる事業について、書面をもって概要報告がなされた。

① 東日本大震災被災者支援

KnK：岩手県沿岸部における緊急教育支援事業(民間資金)

② スリランカ洪水被災者支援

HFHJ：バティカロア県における住居修繕キット配布を通じた水害被災者支援事業

(政府支援金・民間資金)

③ スリランカ北部人道支援

HFHJ：マナー県における住居建築を通じた紛争帰還民再定住支援事業 (政府支援金)

④ スーダン南部人道支援

JCCP：南部スーダンにおける子どもと若者へのライフスキル向上支援事業 (第4フェーズ)

(政府支援金)

(3) 書面による報告について

事務局より、書面をもって以下の報告がなされた。

① 政府支援金および民間資金財務状況の報告

② 企業との連携の報告

③ 事業計画変更の報告

④ メール審議結果の報告

⑤ 固定資産処理の報告

⑥ コア・チームの報告

⑦ JPF事務局審議結果の報告

⑧ 終了報告書審議結果の報告

書式第6号

(4) 次回、次々回常任委員会の開催日時と会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することを確認した。

2011年度第7回常任委員会：10月25日（火）16時より

2011年度第8回常任委員会：11月30日（水）16時より

以上